

## 油圧ジャッキでフランジボルトを緩め中 ジャッキが跳ねて顔に飛んだ

## 【発生状況】

蒸気タービンにて、クロスオーバー管のフランジボルトを油圧ジャッキを使用し  
て緩めていた際、ジャッキのラムが跳ねた。

飛んだラムは被災者のメガネに当たり、メガネでまぶたを切った。

## 【作業状況】



ジャッキが跳ねないよう  
足でラムを押さえていた

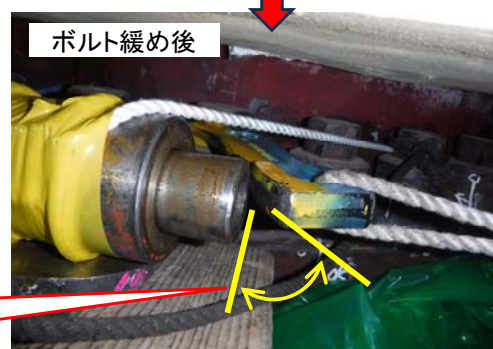
ジャッキのラムが跳ねて  
飛んでできた

## 【ジャッキ使用状況】



ボルト緩め前

専用治具



ボルト緩め後

ジャッキが伸びてボルトが回ると  
角度が開いてジャッキが外れやすくなる

## 【原因・問題点】

- ①ボルトを緩めていくとスパナとジャッキの角度が開き ジャッキが外れやすくなるが、足でラムを押さえていたため、スパナとジャッキの角度が確認できなかった。
- ②ジャッキを当てていた治具は初めて使うものであり、細かい注意や危険性の周知ができていなかった。

## 【対策】

- ①ジャッキを使う際は、跳ねて体に当たらないよう対策をとる。
- ②治具を使用する際は、注意点や危険性の周知を行う。